

委 員 会 報 告

2010～2011年度

No.1

第 10 回

委員会名

社会・障害者福祉委員会

委員長名

L 秋富 一美

開催 日時	2011年 4 月 27 日 水 曜日 15 時 45 分 ～ 18 時 00 分					
開催 場所	キャビネット事務局会議室					
出席 者	○	河合地区ガバナー	×	大石第一副地区ガバナー	×	阿久津第二副地区ガバナー
	○	L 秋富 一美 委員長	○	L 清口 猛 副委員長	○	L 熊野 活行 副委員長
	○	L 吉田 秀子 委員	○	L 大和田 タミ 委員	○	L 田中 圭子 委員
	○	L 高田 英供 委員	○	L 工藤 章 委員	○	L 目黒 義繁 委員
	○	L 竹花 秀勝 委員	×	L 松浦 辰吉 委員	○	L 下山 富士男 委員
	○	L 指田 勇 委員	○	L 中川 正文 委員		
	出席オブザーバー					
	○	L 吉田 實 キャビネット会	○	L 伊藤 弘美 副幹事	○	屋代 誠一L
	○	竹川 司	○	片岡 洋乃L	○	杉山 南見夫L
	○	中村 安次L	○	林田 喜久子L		
次 第	司会・進行 L 熊野 活行 副委員長					
	1	委員長挨拶 L秋富一美委員長				
	2	ガバナー挨拶 代理 L吉田実キャビネット会計				
	3	前回議事録確認				
	4	審 議 別紙議題による				
	5	日程確認・調整				
	6	次回開催確認				
議 題	審議経過事項の概要					
	1	5/28-5/29開催 330A共催障害者スポーツ大会				
次回開催日時 場所	2011年 5 月 20 日 金 曜日 13 時 30 分 ～ 15 時 15 分					
	キャビネット事務局					
				作 成 者		L 中川 正文

審議経過事項の概要	
議 題	司会 熊野活行副委員長 来賓の紹介 1 女性参画・家族会員推進委員会:委員長 片岡 洋乃L、副委員長 中村 安治L、副委員長 林田 喜久子L 指導力・若手育成委員会:副委員長 杉山 L
	開会の挨拶 清口 猛副委員長 2 出席者への御礼と、委員会参画の2大行事は①ピポ・ユニバーサル駅伝と②5/28-5/29開催 330A共催障害者スポーツ大会であり、②に関し最後の行事であり最大の努力をしたい。
	委員長挨拶 秋富 一美委員長 3 東日本大震災支援のため出張中の松浦 辰吉Lを除き、全員の出席であり感謝の気持ちを表明された。 引き続き、本日の主議題である東京都障害者スポーツ大会の主旨説明と、当委員会としても全力を上げて成功させたいとの報告がなされた。
	ガバナー挨拶（代理 吉田 寛会計担当） 4 ガバナー他行事出席の為、遅れて委員会出席との報告があった。 キャビネット事務局も東京都障害者スポーツ大会に関し、330A地区共催事業でもあるので全力を上げて協力する旨の説明がなされた。
	討議 ① 5 司会 熊野活行Lより、障害者スポーツ大会の運営を円滑にする為、本日委員会のオブザーバーとして東京都障害者スポーツ大会実行委員会、総務部委員である屋代誠一L（東京日本橋LC）と竹川司L（東京21世紀LC）に出席頂いている旨の報告があり、屋代Lには330A地区として委員会としての参画に関し説明をお願いしている事、竹川Lには昨年のスポーツ大会の映写会を行っていた各委員の大会への理解を深めてもらう旨説明された。 引き続き、屋代Lより大会運営に関する具体的説明が行われた。障害者スポーツ大会は60年前から開催されており、20年前からは知的障害者の大会も一緒に開催される事になった旨、また各LCとしての取組みは渡辺豊隆元ガバナーの時代に係わる事となった由（尚、キャビネット事務局及び委員会としての取組みは年度による異なりがある）、更に東京都障害者スポーツ協会にとってLCの存在は大会運営上大変重要な位置付けにある事、また本大会はパラリンピック出場への登竜門であり白い帽子的公式競技員が参加選手の判定を実施、雨天等による中止は無いとの事。 運営委員は、養護学校の先生、福祉学校の生徒及びOBの先生等、約4,000名程度の要員の動員を計り、その理由は選手全員に対しマンツーマンでの対応をする為。本年は閉会式は中止し流れ解散となること。LCメンバーの業務は、表彰、声援、受付が中心となる旨、屋代Lより説明が行われ、各委員からも熱心な質問があった。また、同時に竹川L操作によるCDの映写会も実施された。
	討議 ② 質疑応答 6 i. 議事の方向性に関し秋富委員長より発言があり、本日出席の各委員及びオブザーバーの皆様でCDを視聴しご参考の助けとして頂きましたが、本スポーツ大会はパラリンピック出場の為の都の代表選手選抜会という重要な位置づけでも有り、更には330A地区の最終の行事となる為、昨年同様最後のエネルギー放出の場としてがんばって欲しいとの事。また、大会成功の成否は各クラブ委員の動員の確保にあり、昨年は800名程度の参加があった。しかし本年は震災の影響もあり会員参加も更に減少するのではと危惧される為、会員の動員に関し委員各位より意見を求めたいこと。更には、参加者の昼食弁当代に関し東京都障害者スポーツ協会より当該昼食代につき協会が負担するとのお話を受けているが、同時にLC会員の参加者で昼食代の負担を受けるものに関し、年会費2,000円の賛助会員になる旨の要望も聞いているので、これに関しても是非を聞きたいとの意向説明も行われた。補足として、大会参加者名簿の作成並びに参加者増員の為各クラブ例会振替とする方法も検討してみてもどうかとの発言もあった。

議 題	7	<u>討議 ② 質疑応答</u> ii. 動員方法に関する発言 熊野副委員長: 動員の絶対数を確保する為には、各クラブ員の参加に関し公約し動員するのか各クラブの自主性に委ねるかによって参加員数は大きく異なると考えられ、これらの観点からも情報の伝達方法を考えないといけない。 秋富委員長: 大会案内に関しキャビネット事務局から各クラブ事務局宛にメール発信するも、各クラブ会長に情報が伝達されていないケースが発生している。 屋代オブザーバー: ペーパーとメールの両方を用いた通信を試みてはどうか。 秋富委員長: 各クラブ会長宛に文書にて直接送付してみてもどうか。 目黒委員: ゾーンチェアパーソンにも協力を願ってはどうか。 熊野副委員長: ZCも330A地区として取り組んでいる事を理解していないと各クラブで勝手にやればとなり組織的活動となっていく。 秋富委員長: キャビネットより全委員長及び当該各委員並びにZCにも通知願えたらと思う。 吉田キャビネット会計: 上記内容に関し、具体的に推進している。 清口副委員長: 各クラブの実情は障害者スポーツ大会への取組み意識が低く手順を踏んでも認識不足であり各クラブでの討議の結果、応援となるので、その方向で対処してほしい。 屋代オブザーバー: 各クラブ応援実数は、2009年102クラブ、2010年88クラブに減少。過去の大会参加に関する資料は事務局に保有されていると考えられるので、これらの資料を活用して各クラブに伝達してはどうか。 熊野副委員長: 様々な意見が出されたが、まとめとして次の方法により対処してはどうか。 【情報伝達の流れと方法】 ・流れ: ①キャビネット事務局→②各クラブへ伝達 ・方法: メール、FAXの両方 ・責任: 参加クラブの確保に関し、ZCがまとめ役となる。 秋富委員長: 以上、討議の結果を踏まえ最大の動員を実現して欲しい。
		<u>河合悦子ガバナーが最後会議に出席され、意見提言が行われた。</u> 只今討議の内容となっている昼食代負担の問題に関しては、東京都障害者スポーツ協会より大会に参加協力頂く330A地区のLC会員の皆様への弁当代を協会の負担として欲しいとの申し入れがあったので、動員数の確保を考えるとそのご好意を受け入れるべきとの提言を説明された。
	8	<u>河合悦子ガバナーご挨拶</u> 今回の東京都障害者スポーツ大会は、年次大会の記念事業の一つであり、本日、社会・障害者福祉委員会委員の他、女性参画委員会、若手育成委員会の参加もあり、大変重要な会議となっている。また、大会参会者の動員を最大としたい旨も考えており、これを実現する為、当委員会としても最善を尽くして欲しい旨の要望が出された。
	9	<u>委員長とガバナーの調整として</u> 当日の動員を最優先として、参加者は各クラブで28日、29日の参加者と弁当の数をキャビネット事務局に報告する事が決定した。
		以上